

オアシスだより

第56号

令和6年11月1日発行

脳神経外科(脳血管治療センター)開設 ごあいさつ

オアシス第一病院 副院長
脳神経外科 久保 毅



暑さもやっと峠を越えましたが、秋が短く、まもなく冬が来そうな季節の変わり目です。皆様、お元気にお過ごしでしょうか？

オアシス第一病院の正面玄関 向かって右側に今年の春から建築が始まり、2階建の棟が完成、脳血管治療センターとして、脳血管障害(脳卒中)などの手術ができる準備が整い、24年11月から正式に脳神経外科を開設する運びとなりました。

脳神経外科というと、頭を大きく開ける開頭手術を思い浮かべるかもしれませんが、私の専門分野は、脳神経外科の中でも脳血管障害(脳卒中)の治療であり、特にカテーテルを用いて行う脳血管内治療です。脳神経外科領域でもカテーテル治療が今後主流になると考え、2003年に虎の門病院(東京)に脳血管内治療科が新設されたので、そこに国内留学させてもらい約3年研鑽を積み、脳血管内治療専門医取得後、2006年に大分に戻ってきました。その後、大分大学医学部附属病院を起点に大分県内に脳神経外科医が行う脳血管内治療を広めるように努力してきました。

この度、縁あってオアシス第一病院で脳血管内治療をさらに進めていくという話を頂き、今まで学んできたことを、皆様に還元できればと考え、今年の4月に当院に就職しました。

さて、脳血管内治療(脳血管内手術)とは、カテーテル(1~5mm程度の柔らかい細い管)を脳につながる血管にいれて、病気のある血管を修復する治療方法です。

心臓では血管を広げる治療が多いのですが、脳では血管のこぶ(動脈瘤: どうみゃくりゅう)を塞ぐ治療もよく行われています。この脳動脈瘤が破れると、命に係わる病状のくも膜下出血になりますので、破れる前に動脈瘤を処置することが大切なのです。

カテーテル治療は体や脳に対する影響が少ない治療法ですが、手術の一方法ですので、絶対に安全というわけではありません。しかし十分に準備を行い、いろんな予防手段を整えれば、開頭手術より安全確実であることがわかってきており、2020年以降、日本全体でも脳血管内治療の数が開頭術を上回るようになっていきます。

脳血管治療センターでは、オアシス病院グループの標語、Smile(笑顔)、Shinsetsu(親切)、skill-up(技術向上)の3Sに加えて、Safety(安全)、Saishin(最新)の5Sでスタッフ全員が協力しながら治療などを行ってまいります。脳血管の病気に不安のある方などは、気兼ねなくご相談ください。

◇外来診療日◇



久保 毅 医師

月曜 9:00~12:30

火曜 14:00~16:30

日野 天佑 医師

月曜 13:30~15:00



🍁 栄養コラム 身体の温まる食事をしましょう~風邪予防~

寒くて乾燥している冬は、風邪をひきやすい時期になっています。風邪の予防は手洗い・うがいはもちろんの事、食事からも予防することができます。風邪の予防に効果的な栄養素を摂ること、身体を温めることで免疫力をアップしていきましょう！

ビタミンA

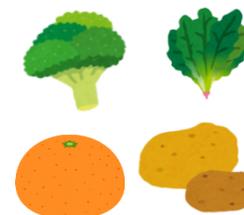
ウイルスや細菌の侵入を防ぐ粘膜(喉や鼻)を保護する働きを持ちます。ビタミンAは、油と一緒に摂取することで吸収率が高まります。



・人参や南瓜などの
緑黄色野菜
・チーズ など

ビタミンC

ウイルスや細菌から身体を守るための免疫力を高める働きを持っています。ビタミンCは身体に貯めることができないので、毎日の食事で継続的に取り入れましょ



・ブロッコリー
・ほうれん草
・みかん
・いも類
などの野菜や果物